

八月の暑い夏、蘇える戦争の記憶 あの戦争は何だったのか!

長泉町 元日本軍兵士 秋元実氏に聞く

戦後六十二年目の夏が来た。あの戦争から半世紀がとくに過ぎ去り、生々しい戦争の記憶を残す人達は数少なくなつてしまった。また、当時を死に物狂いで生き抜いた人々の戦争体験も風化し、愚かで呪わしい戦争が過去の歴史の「こまへ」と変質しつつある。しかし、言葉では言い尽くせぬ悲惨な戦争の記憶を残す人達が身近にいるなら、是非とも聞かねばならない。

長泉町に住む秋元実さんを訪ねた。今年八十六歳を過ぎた高齢の身だが、まだたくしやくとして戦争体験を語り継いでいる。

「恨み」とも思える執念が脳裏に染み付き、戦争の話は尽きることが無い。

秋元さんは、昭和十七年一月、三島野戦重砲兵第三連隊(中部第十部隊)に召集され、三ヶ月の訓練の後、ピルマ戦中の本隊に送られ、第二大隊第六中隊に配属されて、砲手としてヒルマ及び中国雲南省と、ティモール・フロレンス・スパンワなどの小スンダ列島の島々で、

下積みの兵隊としての苦労を経験した。敵兵と殺し合いの白兵戦などはやったことはなかったが、軍隊の底辺にいた四年半の記憶は消えることがなく潜在意識に蓄積され八十歳代老人の反戦平和を願うエネルギーになつていくという。

秋元さん等、野戦重砲の兵士達は戦場で苦労を重ね、千七百名の戦友のうち八百名が戦病死亡したという。そればかりか十五年間の「アジア太平洋戦争」では、日本の軍人軍属三百二十万人が死んでいる。

民間人八十万人が死に、東アジアの人民も、日本の仕掛けた戦争で、二十万人以上が死んでしまった。しかも、戦後六十年以上上つた現在も地上のどこかで人類の殺し合いが、絶え間なく続けられていることに怒りを感じるという。

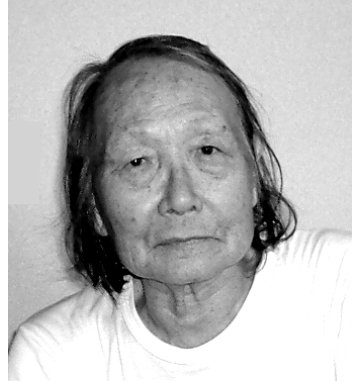
静岡歩兵第三十四連隊について

三十四連隊の戦歴は、実に出陣将兵の血に塗れた凄惨なもので、昭和十二年九月、上海に上陸してから太平洋戦争終戦まで八年間、大陸を転戦し、実に五千名余の戦死者を出している。

静岡連隊の戦時編制の人員は、約三千八百名で、五千名の戦死者が出たのは、戦死者の穴埋めにきた補充要員が、何十回と繰り返された激しい戦闘のなかで、次々に戦死していったからで、

戦時下の状況

戦時中の日本人は、昭和十八年にかけて、兵士達が玉砕を経験するまでは、「世界一強いのは日本軍で、忠勇無双の将兵が軍刀をかざし、三八銃を構えて突撃すれば、どんな敵兵でも、手をあげて降参する」と思っていた。本格的に日中戦争が始まったとき、わたしは沼商の四年生でしたが、召集された村の若者が下士狩から、在郷軍人会や



秋元 実さん

十四号で掲載されたフィリピン母子Pさんの記事は思わぬ反響があり、記事を読んだ方々から温かい支援を頂いた。食器棚を買って下さったり、生活資金を寄付して下さい。布団や電子レンジ、トースター等を提供して下さい。また、遠く福岡県の見知らぬ人からも支援のカンパが届いた。その温かい気持ちにPさんは涙を浮かべて感謝していた。

その後Pさんは、ハロワークにも出掛けあれこれ仕事を探しまわった。ついに、ある老人保健施設に就職が決まり働

き始めた。求人情報誌を読み漁り、やっと見つけた職場だ。しかし何の保証もないパートの身分で働いても月収十数万円に届かない。しかも、職場の人間関係はなかなか難しく、外国人だからというのもあるから、

給料が出るまでの間も苦しい生活は続く。しかし、三島市に出した生活保護の申請は却下された。余にしかたない。しかも、職場の人間関係はなかなか難しく、外国人だからというのもあるから、

「沼津には母子寮があるから、そっちへ行ったらどうだ」と言い放った。真面目に働いて、それでも生活が苦しい母子を擁護しようという姿勢は全く見られない。それどころか厄介払いをしようにしている。Pさんがどんなにお願しても、その

フィリピン人母子その後

徳倉 やかみ(母さん)

生活保護の対象はおおよそ月収十四万円以下で、それを下回る場合は差額分を生活保護費として貰える。また住居手当として上限四万円程度まで支給される可能性がある。この二度目の申請が却下された場合、アミ



ピルマ戦線での三島野戦重砲兵第三連隊

艦内には大量の弾薬、航空燃料とともに二基の原子炉があり、危険性は計り知れないものがある。なお米軍当局は、八月十九日にジョージ・ワシントン

の、この国全体の空気が、

短歌 五首

モジリアニの描く女ら長き頼すこし傾け
空をただよう (モジリアニ ジャンヌ・エペユテルズ)

死者悼み囚われの人ら手を合わす香月泰
男のしずかな反戦 (香月泰男 シベリア シリーズ)

一枚にこめし重たきめつせいしベンシヤ
ーンの描く「ラッキー・ドラゴン」 (ベン・シャーン 死の灰)

絶筆の「建物」は静かに堅固なり定期詩の
ごと地のつた響かす (松本俊介 建物)

ラストポーズの裸婦は青き魚となるテッ
サン室の長き夕陽 (浅野 和子)

時事川柳

金券のシヨップができる校舎前
タレントと野球選手はしょうもない
サミットはなにをしたのか分からない
ウザイと言つと我が子に殺される (板倉毅武)

七月十九日、横須賀のエルニー公園で、「原子力空母の横須賀母港化を許さない七・一九全国集会」が行われた。主催は、全国集実行委員会、実行委を構成したのは、フォーラム平和・人権・環境をはじめ、自治労、日教組、国労、私鉄、各ユニオンなど。

北海道や沖縄からも多くの人が参加し、会場は騒がしい。この空母は現在、サンチエゴで修理中だが、火災の原因は軍事機密に関わる事項として一切明らかにされない。

七・一九 米空母の横須賀母港化反対集会
人の波 一万五千の参加者

日米両政府の合意により原子力空母「ジョージ・ワシントン」の横須賀母港化が決定され、八月にも配備が行なわれる予定であった。しかし、この原子力空母が五月十二日、太平洋上で大規模な火災事故を起こし、原子力空母の火災事故は、原子力空母の火災事故は、原子力空母の火災事故は、



7月19日(土)横須賀に集まった人々

楽々パソコン教室のご案内
毎週水曜日 夜
生涯学習センター
5F(パソコン教室)
午後7時~8時半
月4千円、1回1000円
【個別指導対応】
ワード、エクセル、デジカメ、画像処理、ホームページ作成等
連絡先: 055-986-1301(勝俣)

自彊術三島教室のご案内
日時 毎週金曜日 午前10:00~11:30
場所 三島市民文化会館 ゆうゆうホール 地下1階-111室
経費 3ヶ月11回 9000円
連絡先 島田まさ子 090-4083-9184

国語のことなら何でも ご相談ください!!
学生のための 補習 & 大学受験 古文 漢文 現代文 小論文
社会人のための 文章表現講座 読解力・作文力・面接力向上など
ゆったりした時間を 古典鑑賞講座 古文 漢文 文学史など
読んだり書いたり話したり 言葉による自己表現ワーク 言葉遊び、ディベート練習など
国語 文章表現研究所 こころプロジェクト 読解力向上・作文力・面接力向上
沼津教室 沼津市清水町沼津内 三島教室 沼津台6-6 電話 055-972-4953(夕方)

お気軽にどうぞ!
みしま 源氏物語を読む会
みしま源氏物語を読む会は、08年6月16日に発足しました。時代背景や、平安の文化、日本語の言葉の面白さなども味わいながら、どなたも聞いているだけで分かるように、やさしく進めていきます。どうぞお気軽にのぞいてみてください。
とき 毎月第1・第3日曜日(月2回) 午前10時~11時半
ところ 三島商工会議所・会議室(市立文化会館向かい)
会費 月2000円(テキスト、資料代ほか含む)
問い合わせ みしま源氏物語を読む会 055-972-4953

フリーマーケット
毎月 第1, 第3土曜日
10:00~15:00頃まで
新鮮野菜、干物、衣類...etc
低価格で提供、価格応談
徳倉2丁目2-30
連絡先: 988-1651